

### 令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	飯山仏壇「命の器」ニューノーマル展開事業
事業主体 (連絡先)	飯山仏壇事業協同組合 明石 洋一 (電話090-8505-7478)
事業区分	その他特色個性を生かした産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	3,680,390円 (うち支援金: 2,816,000円)

#### 事業内容

令和4年度は、令和3年度で製作した試作品の内、特に蓮の花の形状の「命の器」を売れる新商品へとブラシアップを行い、そしてその商品の情報発信等プロモーションを東京ビッグサイトにおけるギフトショーでの新商品の展示、ホームページ、新聞広告、仏壇通りでの大型ポスター展示などを行いました。



【ギフトショーでの新商品発表】

#### 事業効果

新たなコンセプトによる新商品「思い出供養・命の器」を開発販売することで、今までにない新たなニーズへ適用可能となり、新商品の販売促進と併せて飯山仏壇の知名度アップ(ブランド化)につなげていきます。

今年度は、新商品の「命の器」を完成させ、東京ビッグサイトにおけるギフトショーでの展示、新聞広告等により広く広報ができ、販売推進に向けて大きな足がかりとなりました。

来年度以降、厳しい仏壇業界の中、「命の器」の本格的な販売を促進させることで、若者定着のための就業や新たな需要創出につなげていきます。

#### 【目標・ねらい】

新たなコンセプトによる新商品「思い出供養・命の器」を開発販売することで、新たな需要の増加と併せて飯山仏壇の知名度アップ(ブランド化)につなげる。

#### ※自己評価【B】

#### 【理由】

新商品「命の器」を完成させ、東京ビッグサイトでのギフトショー出展や新聞広告などにより効果的な広報ができ、次年度以降の販売・ブランド化に期待が持てた。

#### 今後の取り組み

令和5年度は、令和4年度で製作した蓮の花の形状の「命の器」を売れる商品へとブラシアップをさらに続けるとともに、今までの制作段階から販売営業に向けて営業へシフト転換を図ります。併せて、その商品の情報発信等プロモーションを継続的に推進させます。

そしてプロモーションでは、この命の器が、アフターコロナから発生したニューノーマル思想による生命の根源的な見直しの中で生まれた人の愛による死後のつながりを強調します。命の器には、故人の記憶を記録した遺品を収納し、命の記憶を継承していく重要なツールとして、この新発想を社会の中に定着させることが、新商品の販売に大きく寄与させることになるので、この新発想を多くの方にPRしていきます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある